

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2024年 1月 15日

事業所名: 夢門塾ゆうゆう高木

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	5	0	0	・活動スペースを広く利用できるように工夫している。
	②	職員の配置は適切である	3	2	0	・しっかりと支援が行き届くよう、曜日ごとに職員配置を考え支援している。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	0	0	・感染対策マニュアルに沿った対応に心がけている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	・振り返りの機会が少ないので時間を設けて実施していきたい。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	1	0	・周知し、職員全員で改善にむけて話し合っている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	5	0	0	・ホームページにて公開されている。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4	1	0	・外部研修への参加を増やし、更なる資質の向上に努めたい。 ・連絡帳の書き方などの研修を受けられるので、その都度子ども達への関わり方を見直している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5	0	0	・個別支援計画は丁寧に行われ、お子様一人ひとりの様子を職員間で意見交換し、課題をたて保護者様との対話にて決定されている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	3	2	0	・活動のレポーターが少なくなっているため増やす必要がある。 ・勤務時間が異なるため、記録ノートにて確認している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4	1	0	・子どもの気持ち面が最近落ちついていないので、固定化になりつつある。 ・一週間単位でプログラム内容を変えている。 ・シャトルランを音楽付きで取り入れ学校では一度しかできないものを何度でもできるので子ども達も楽しそうです。 ・利用者の希望(ニーズ)を汲み取り、取り入れている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4	1	0	・調理、おでかけなどは、細かな部分も話ができている。 ・平日は運動中心、土曜日、長期は工作、調理、買い物等の社会性を課題として設定している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4	1	0	・指先トレーニングは折り紙などのことで取り組んでいる。 ・日々の状況で必要に応じて活動ができるように配慮している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	・勤務時間が異なるが記録ノートで確認したり個別に話を聞くようにしている。 ・当日特に気をつけることをしっかりと教えている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	・毎日記録は取っているが、不十分な点に関しては記録の取り方についての研修等で改善に努めたい。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・モニタリングは面談、電話にて保護者様と行われている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	0	・ガイドラインに記載されている内容を複数組み合わせて行っている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	・朝のミーティングの際に各組ごとで申し送りをしている。 ・毎月の行事、下校時間が記載した用紙をいただいている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	1	0	・保育所との情報共有はないが、今後必要時には行っていきたい。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	5	0	0	・移行後の事業所への情報提供は行えていないが、問い合わせ等あれば対応していきたい。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	0	・専門機関との連携はとれていない。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4	1	0	・職員ごとで気をつけていることを情報共有し実践している。 ・連絡帳等で本日の様子をお伝えし送迎時に重要なことはお伝えしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	0	0	・契約時に一つ一つ説明している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	1	0	・悩みを共有していただき、解決策の提案や、夢門塾で対応できることをお伝えしている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	4	0	・年に数回活動の発表の場を設け、保護者様に来所して頂けるように企画していく。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	・苦情対応規定を定めている。対応の体制整備において行っている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	0	0	・通信を月の初めに発行し活動内容、行事について掲載している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5	0	0	・全職員が意識できるように伝えている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	0	・視覚情報を適切なものへと変更するとよい。 ・お子様には絵カードなどを使用し伝達を行っている。保護者様へはメール等を使用し伝えもれのないよう努めている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	3	2	0	・ゆうゆう祭りなど、地域の方が参加できる催し物を開催したり、地域のイベントへの参加をしている。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	1	0	・全てマニュアル化している。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5	0	0	・全てマニュアル化している。年に二回避難訓練をしている。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	・年に一度会社での研修があり全職員参加、共有している。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	0	0	・現在対象となるお子さんがいない。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	0	0	・与薬表をもとに投与し、飲み忘れがないよう職員同士言葉がけを行い目につく所へ掲示する等行っている。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5	0	0	・出来事を書面化し回覧している。報告者以外の職員の考えを聞くことで再発防止に努めている。
<b>保護者様評価、自己評価についてまとめ</b>						
事業所で行っている活動や取り組みに対し、保護者様へ行き届いていない情報もあることがわかった。今後も保護者様の「わからない」をなくすため、しっかりと活動の紹介やフリー参観日、ブログ、ゆめ通信等を活用していきたいと思う。また、様々な機関との連携を積極的に行っていきたい。						